

課題：就活開始までに青森の素晴らしい企業・仕事に対する理解を深める

学生の意識調査	第1回協議会の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内就職を希望する学生は、 学年の進行とともに減少 1年生 63% 3年生 56%（就活開始時） ・ 県内企業のネガティブイメージは、 学年の進行とともに増加 (労働条件が悪い) 1年生 36% 3年生 40%（就活開始時） (時代に合った仕事が少ない) 1年生 19% 3年生 21%（就活開始時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青森は素晴らしいところだということを告知することが必要 ・ 青森には立派な企業がたくさんあり、夢を膨らませていく手法が必要 ・ 地域の素晴らしい企業を知る機会を増やすことが必要

課題：学生ニーズによる職場環境（イメージ）の向上

学生の意識調査	第1回協議会の意見
<ul style="list-style-type: none">・ 就職先の選択基準は、男女、県内 県外を問わず、 「労働環境が良い」 「福利厚生が整っている」 「休日、休暇が多い」 という点を重視・ 県内企業のイメージは、 「小規模・零細」 「労働条件が悪い」 「時代に合った仕事が少ない」 を選ぶ学生が多数	<ul style="list-style-type: none">・ 職場環境に対する学生ニーズを 企業側に提供することが必要・ 企業は、福利厚生、地域貢献等 の魅力向上に努めることが必要・ 県内企業が選ばれる環境づくり が県内定着のカギ

課題：専攻分野と業界団体が一体となった分野別の取組

学生の意識調査							第1回協議会の意見
<ul style="list-style-type: none"> 各専攻分野において、県内就職希望は学年進行とともに低下する傾向 							<ul style="list-style-type: none"> 学卒の採用に向けて、大学や短大等との関係を密にしていく活動が必要 保健学系学生は実習・インターンシップが地元定着の動機づけ 事業所での実習を通して、資格に関係なく興味を広げる取組
	文系	教育	理系	保健	薬学	計	
1年	61.3%	73.4%	48.4%	67.3%	100.0%	62.8%	
2年	64.4%	71.2%	39.5%	68.1%	66.7%	60.0%	
3年	62.9%	59.6%	38.3%	59.2%	100.0%	55.7%	
4年	62.2%	65.1%	47.0%	56.8%	88.9%	57.0%	
4年-1年	0.9%	△8.3%	△1.4%	△10.5%	△11.1%	△5.8%	
<ul style="list-style-type: none"> 特に理系は県内就職希望が低く、学年進行とともに、さらに低下 							